

曹洞宗

群馬県宗務所 第13教区報

第1号

平成25年1月1日発刊

教区報発刊にあたり

第13教区長 宝積寺住職 西 有 孝 裕

謹んで新年の御祝辞を申し上げます。皆様におかれましては幸多き一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

さてこの度、群馬県富岡市、甘楽郡、並びに高崎市奥平の曹洞宗31ヶ寺で組織する第13教区では「曹洞宗群馬県宗務所第13教区報」を発刊することとなりました。

近年、この31ヶ寺では、寺院（第13教区）と檀信徒（第13教区護持会）との間での連携、協力が活発で、さまざまな活動を行っています。

昨年は、「東日本大震災支援活動」「アイパット講習会」「和の接遇マナー教室」などを実施しました。

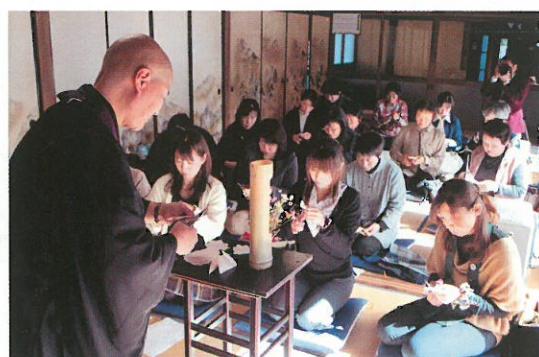
また、第13教区護持会では、「微笑会（みしょうえ）」「東日本大震災被災地視察研修」などの活動を行っています。

大本山永平寺を開かれた道元禅師は「道を行することは、衆力を以てするが故に、今、心を一つに参究尋覓（さんきゅうじんみやく）すべし。」とお示しになっています。教区内で行事や活動を活発に行うことができますのも、寺院と檀信徒の皆様が心を一つに合わせてきた和合の賜物であります。

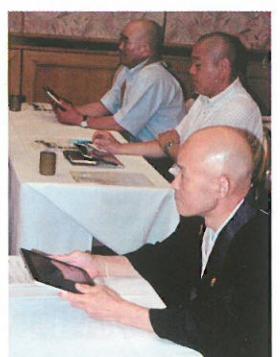
この「第13教区報」により、更なる活動の宣揚と、良きご縁を広く多くの方々と結ぶことができますよう祈念し、発刊のご挨拶といたします。



A



四



6

13教区31ヶ寺院

富 菅南上下下上宇宮宮一一下富岡 下仁田 本中 南牧 檜 甘樂町 轟天小善国国白小秋秋小天秋 高崎市 上奥
岡 蛇高高丹丹 ノノ高 小村 慶 原井尾田生生田崎崎宮宮瀬岡本宿坂沢 引幡寺峰峰倉川畑畑幡引畑 平

陽最長生永金神桃永三連光海福
雲興學壽隣乘守林乘會珠巖源壽
寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺院

長延命寺

永昌寺 宝向寶福興長松寶天西松壽泉
積陽泉巖巔善泉林德光慶福龍
寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺寺

東日本大震災支援活動

平成23年3月11日の東日本大震災後、第13教区31ヶ寺では、同年8月より協力し、「東日本大震災物資支援」活動を行っています。また、昨年9月10日には、物資支援先である「佐野民有仮設住宅」を曹洞宗群馬県宗務所・群馬県曹洞宗青年会・第13教区有志が訪問しました。



E

F

(E) 宝林寺住職、山崎英俊さん（写真）が支援物資を2ヶ月に一度の割合で、主に岩手県山田町の「龍泉寺」、陸前高田市「佐野民有仮設住宅」の皆様にお届けしています。

(F) 9月10日、佐野民有仮設住宅で物故者の慰靈法要（万燈供養）が行われました。（導師・松倉団長）



G

H

(G) 永平寺の台所係で修行した僧侶によりケンチンうどんが振舞われました。

(H) 精進料理レシピ教室、抹茶の接待が行われました。

支援物資累計

（平成23年8月～平成24年10月）

支援者計409名様より（団体を含む）

- 米2,912kg（お米券含む） ○下着類833枚 ○靴下類358足 ○風呂敷164枚
- 鍋・やかん類66点 ○日用品5,723点（洗剤・石鹼類他） ○義援金283,022円



J
(I) 群馬名産の高原キャベツ、水沢うどん、下仁田コンニャク、漬物、轟味噌などを各戸にお配りしました。
(J) 万燈供養には群馬、埼玉の130名の皆様が、被災者の皆様へメッセージをお寄せ下さいました。

第13教区護持会研修（11月12日～13日）



L

K
(K) 第13教区護持会（中野薰明会長〔長善寺総代〕-写真礼拝姿）は、大川小学校（宮城県石巻市）と南三陸町の防災対策庁舎にて慰靈法要を行いました。

(L) 宮城県宗務所・佐竹孝喜副所長老師の案内で、南三陸町の西光寺（住職、小川良孝老師）様を訪問し、被災したときの状況、復興のようすを伺いました。後方は慈善団体により寄贈された仮本堂です。参加者の足元が流された前本堂の基礎でした。

◆支援物資を集めています◆

現在、とくに下記の物を被災地に届けています。
ご協力をお願い致します。

- お米 ○石鹼・洗剤など新しいもの
冬物の下着、シャツ・パンツなど新しいもの
- 義援金（主に支援物資輸送費等に当てさせていただきます。）

～支援物資お届け先～

支援物資受付所にご持参いただくか、お送り下さい。なお、直接お持ちいただく場合は、前もってご連絡をお願い致します。
・支援物資受付は、各菩提寺（13教区31ヶ寺）または
・曹洞宗 群馬県宗務所 第13教区事務所「宝積寺」まで
〒370-2203 群馬県甘楽郡甘楽町轟774
TEL 0274-74-2743 FAX 0274-74-3024

◆第9回微笑会◆

日時・平成25年7月6日（土）

会場・甘楽町文化会館
(500名収容)

講師：岡山県成興寺住職
小倉玄照老師

問い合わせ先（事務局）

永隣寺 TEL 0274-67-4329
主催：曹洞宗群馬県
第13教区護持会

佐野民有仮設住宅を訪問して

団長 光巖寺住職 松倉 純洋

東日本大震災からちょうど一年半を迎える日に、私たち12名は陸前高田市、佐野民有仮設住宅を訪問いたしました。遠距離にもかかわらず、綿密な計画にともづき、物故者の万燈供養は無論のこと、うどんの炊き出し、ごま豆腐のレシピ指導やお抹茶の接待等、心のこもった交流ができました。

昨年の東日本大震災を体験して、何か援助しなければと思い、どのようなことが自分にできるのか思案し、各種機関を通じて義援金や物資の寄付、被災地の視察、仮設学校への支援、施設職員の派遣等を私的には行ってまいりました。

しかし、今回の訪問は私たちにとって特別な機縁となりました。短い時間ではありましたが現地に赴き、被災された皆様と直接お会いして、ふれあうことができました。時間と共にお話がすすむ程に参加者の皆様に親しみの笑顔が見られたことは、何にもまして大きな喜びでした。こうしたことが可能になったのも、多くの支援者のお力があってのことと、改めて感謝申し上げ、又、第13教区寺院の継続的な取り組みに心から敬意を表します。



D

(D) 9月10日 岩手県陸前高田市、佐野民有仮設住宅にて。

(1ページA・B) 11月7日「和の接遇マナー教室」。泉龍寺住職、新井銳順さんのご指導により、和室での挨拶の仕方、お茶の出し方などを勉強しました。一般の方も参加され熱心にメモを取っていました。(25名参加)

(1ページC) 7月29日「アイパット講習会」。田村久夫さんによる、アイパットを使った簡単な操作、地域社会づくりの勉強を行いました。